

**製品名: HEI10 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab11967**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	32kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CCNB1IP1
別名	CCNB1IP1; C14orf18; HEI10; E3 ubiquitin-protein ligase CCNB1IP1; Cyclin-B1-interacting protein 1; Human enhancer of invasion 10
遺伝子 ID	57820.0
SwissProt ID	Q9NPC3
免疫原	抗血清はヒト CCNB1IP1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 201-250

**背景**

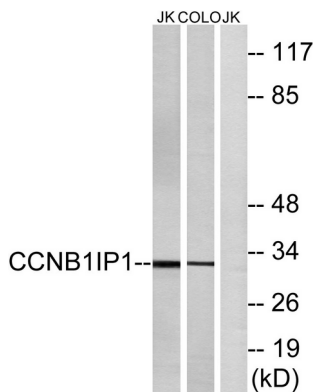
HEI10 は E3 ユビキチンリガーゼファミリーのメンバーであり、細胞周期の G(2)/M 期の進行に関与します。[OMIM 提供、2004 年 4

月,機能: E3 ユビキチンタンパク質リガーゼ。サイクリン B レベルを調節し、細胞周期の G2 期の進行の制御に関与します。過剰発現は有糸分裂への移行を遅延させます。経路: タンパク質修飾; タンパク質ユビキチン化。PTM: CDC2 によるセリンまたはスレオニン残基のリン酸化 (in vitro) 。PTM: ユビキチン化; 自己ユビキチン化。類似性: 1 つの RING 型ジンクフィンガーを含む。細胞内局在: 中期および後期における染色体の分離に関連する可能性がある。サブユニット: CCNB1 および UBE2L3 に結合します。組織特異性: 心臓で高発現しています。肝臓と腎臓では中程度の濃度で検出され、胎盤、脳、肺では低濃度で検出されます。

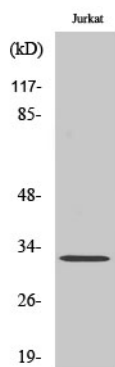
## 研究分野

-

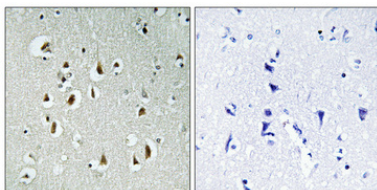
## 画像データ



CCNB1IP1 抗体を用いた Jurkat 細胞および COLO 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 2000 に希釈した HEI10 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。